



業務用ロスナイ システム部材
24時間換気ユニット（微弱風量対応）

形名
PGL-24BJS（単相100V専用）
PGL-24BJSD（単相200V専用）

据付工事説明書

販売店・工事店様用

24時間換気ユニットは夜間不在となる居室に設置されたロスナイに取付け、ロスナイを微風で常時運転させるものです。

- 据付工事を始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。
また、ロスナイ本体の据付工事説明書も併せてご覧ください。
- 据付工事は販売店・工事店様が実施してください。（お客様自身で工事しないでください）

据付工事終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

- ご使用の前に「安全のために必ず守ること」を確認して、正しくお使いください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

安全のために必ず守ること

- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告		誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
 風呂・シャワー室での使用禁止	浴室内取付けや雨水がかかるような屋外取付けはしない 火災や感電の原因になります	 指示に従い必ず行う	定格電圧・制御容量範囲で使用する 間違った電圧に接続すると火災・感電の原因になります
 分解禁止	改造や必要以上の分解はしない 火災・感電・けがの原因となります		端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する 接続に不備があると火災のおそれがあります
 水ぬれ禁止	水につけたり・水をかけたりしない ショートや感電のおそれがあります		電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者である電気工事士が安全・確実に行う コネクタの接続は確実に行ってください 接続不良や誤った電気工事は感電や火災のおそれがあります
 ぬれ手禁止	ぬれた手で操作しない 感電のおそれがあります		

 注意		誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの	
 指示に従い必ず行う	据付けの際は手袋を着用する 着用しないとけがをすることがあります	電線を端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子などを使用して確実に接続する 使用しないと火災などの原因になることがあります	

お願い

- 寒冷地（北海道、東北の一部）での24時間運転は冬季に結露するおそれがありますので断熱材貼付等、別途対策が必要です。
- 霧が発生している場合、24時間換気運転は製品内が結露するおそれがありますので、ロスナイ本体の運転を停止してください。また、霧および発生のおそれがある地域において24時間換気を行う場合は、必ず霧浸入防止回路もしくは耐外風雨防止フードを使用してください。

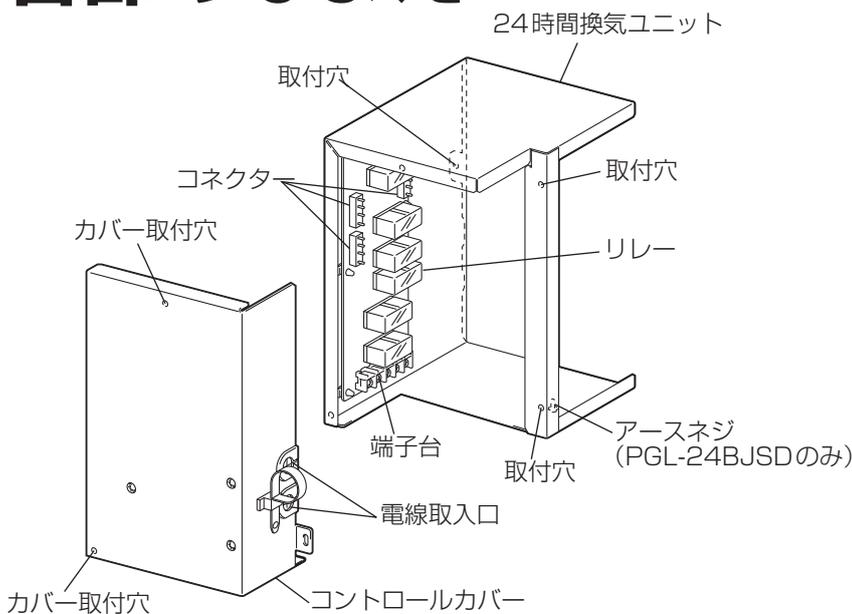
適用機種

形名	適用形名
PGL-24BJS	LGH-N15~N100RS
PGL-24BJS D	LGH-N15~N100RSD

この24時間換気ユニットは、天井埋込形スタンダード機種専用です

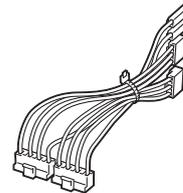
- ※霧浸入防止用回路と併用する場合は、霧浸入防止用回路の据付工事説明書に従って据付けください。
- ※この24時間換気ユニットはリレーボックス、フリープランアダプタ、寒冷地運転用回路の併用はできません。
- ※本製品はロスナイ本体との同時施工を前提としております。ロスナイ本体据付けと併せて施工ください。

各部のなまえ



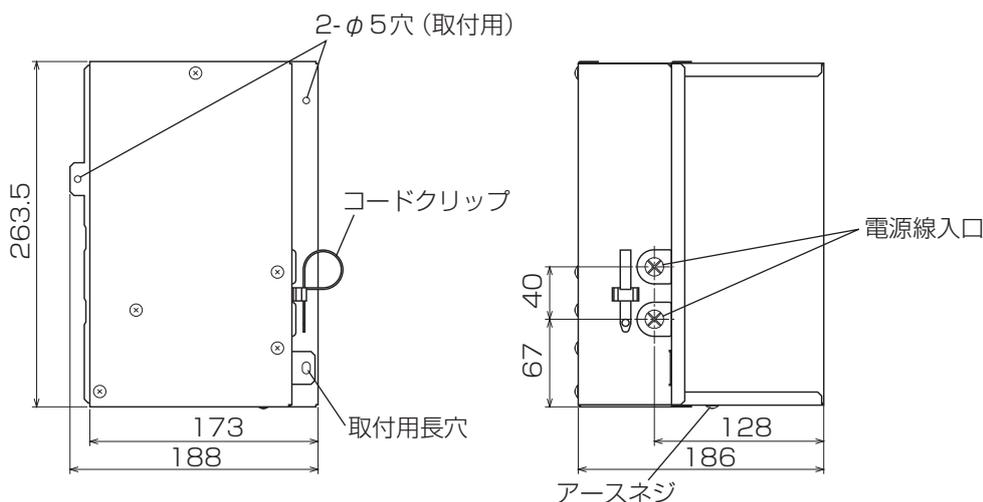
付属部品

接続コードA……1セット



(製品の内側に貼付けてあります)

外形寸法図



※PGL-24BJSにはアースネジが付いていません。

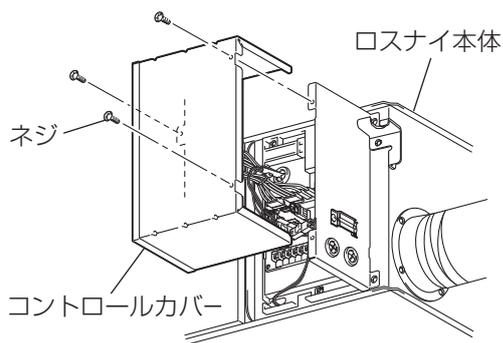
単位(mm)

据付方法

本図はロスナイ本体はLGH-N50RSタイプにて説明しています。

必ず元電源を「切」の状態で行う。

1



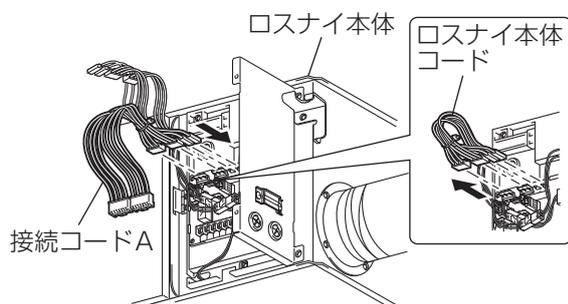
コントロールカバーを取りはずす

ロスナイ本体に取付けられているコントロールカバーのネジ3本をはずして取りはずす。

お願い

- はずしたネジは24時間換気ユニットの施工後に使用しますのでなくさないでください。

2



コネクタを差し替える

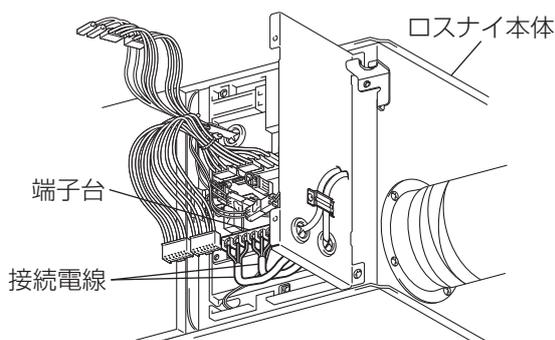
ロスナイ本体からロスナイの制御基板に接続されているコードのコネクタをはずして24時間換気ユニットに同梱の接続コードAに差し替える。

(ロスナイ本体からのコードは後で24時間換気ユニットに接続する)

お願い

- コネクタをはずす際は基板に垂直方向にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引き抜くと基板が破損することがあります。
- 基板にコネクタを差し込む際はコネクタの色を合わせて差し込んでください。
- コードが1本のコネクタは、コードの色が基板に表示してありますので色を確認して差し込んでください。
- コネクタはしっかりと差し込んでください。
- 結線図(5, 6ページ)をよく見て結線してください。

3



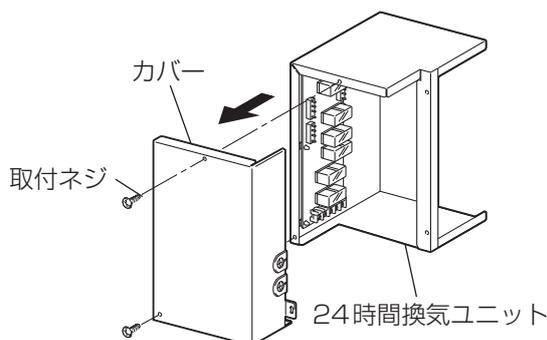
ロスナイ本体の端子台(TM1)への結線を行う

- 端子台への結線方法は、ロスナイ本体据付工事説明書を参照の上、実施してください。

お願い

- マルチ換気モードをご利用の際は、この時点でコネクタの差し替えを実施してください。
- 結線図(5, 6ページ)をよく見て結線してください。

4

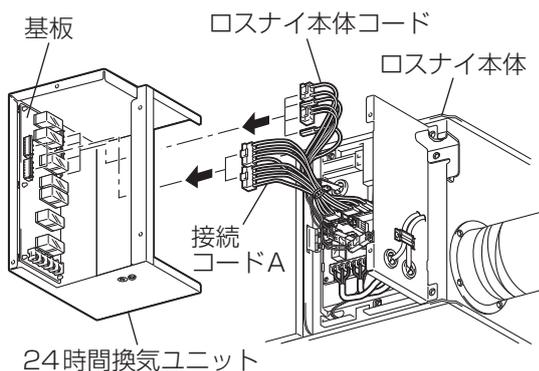


24時間換気ユニットのカバーを取りはずす

24時間換気ユニットのネジ2本をはずしてカバーを取りはずす。

据付方法 つづき

5



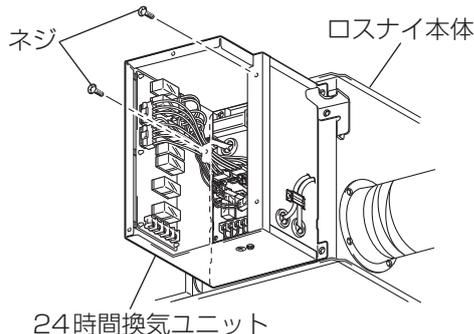
24時間換気ユニットに接続する

ロスナイ本体から出ているコードと、②で取付けた接続コードAを24時間換気ユニットの基板に接続する。

お願い

- 基板にコネクタを差し込む際はコネクタの色を合わせて差し込んでください。
- コードが1本のコネクタは、コードの色が基板に表示してありますので色を確認して差し込んでください。
- コネクタはしっかりと差し込んでください。
- 結線は結線図(5, 6ページ)を参照してください。

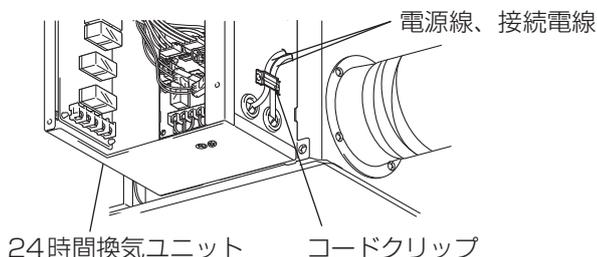
6



24時間換気ユニットの取付け

①ではずしたネジ3本のうち2本で24時間換気ユニットをロスナイ本体に取付ける。

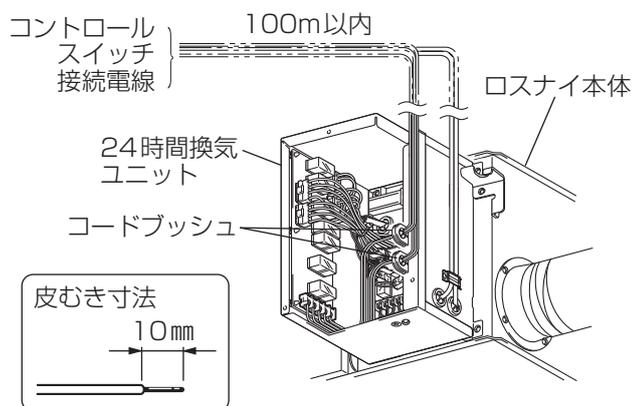
電気工事



コードクリップで固定する

ロスナイ本体用の電源線およびコントロールスイッチの接続電線をロスナイ本体に取付けられたコードクリップで固定する。

(詳しくはロスナイ本体の据付工事説明書をご覧ください)

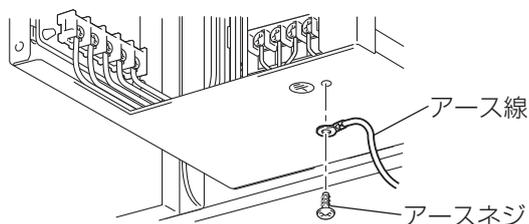


コントロールスイッチとの接続

コントロールスイッチ接続電線(単線φ1.6 例VVF)および24時間換気ユニット用接続電線は結線図を参照し、コードブッシュを通して端子台に接続する。

お願い

- 電線の皮むき寸法は10mmとしてください。皮むき寸法が長すぎますと芯線どうしが接触して短絡するおそれがあります。
- 24時間換気ユニットとコントロールスイッチ間は、100m以内としてください。(誤動作するおそれがあります)



単相200Vの場合、アース工事をする

コントロールボックスカバーに締め付けてあるアースネジをはずして、アース線を取付ける。

結線図

※太線部分を結線する

漏電保護用に電源側に漏電ブレーカーを設けてください

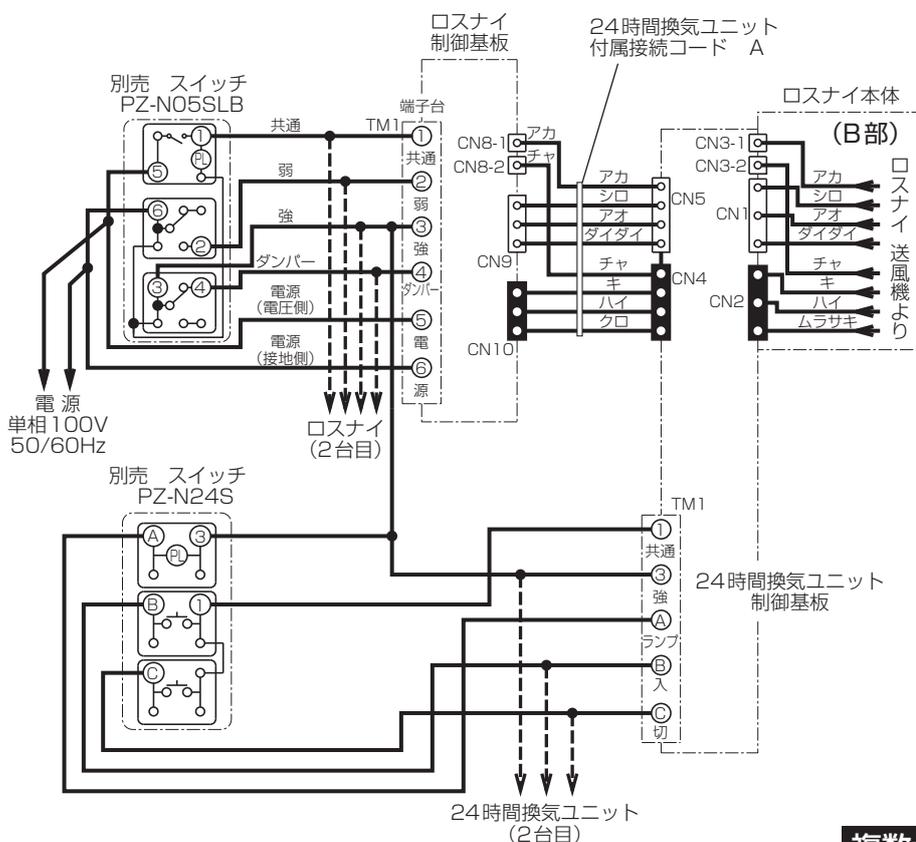
- PZ-N24SまたはPZ-N24SD 1台で24時間換気ユニットを10台まで運転できます。
PZ-N24SW、PZ-N24SWDで複数台の24時間換気ユニットを取付けたロスナイを運転する場合は決められた台数（カタログ・納入仕様書に記載）で運転してください。

お願い

- 結線を間違えますと、ファンが回らなかったり、24時間換気ユニットが破損することがあります。各コネクタどうしの色および基板の表示を確認して間違いのないように結線してください。
- ロスナイとコントロールスイッチ間および複数台運転のロスナイ間の配線長合計は100m以内としてください。（誤動作するおそれがあります）

■ PGL-24BJS

PZ-N24S を使用した場合

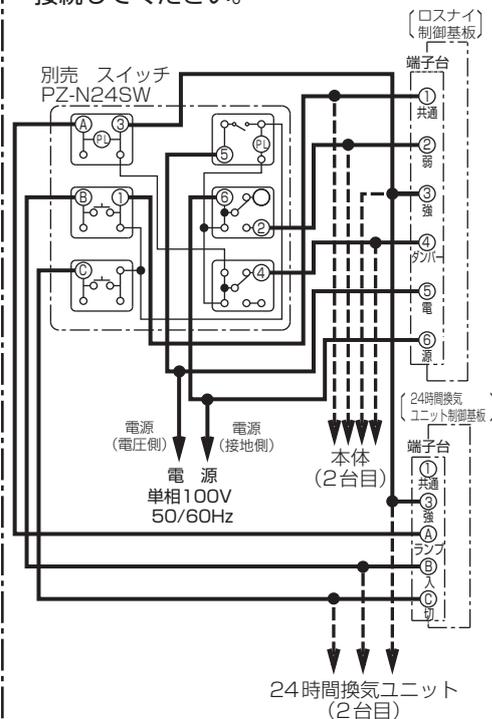


※上記は回路図を示し、コネクタの配置は現品と異なります。
コネクタの表示と色を確認して接続してください。

※ロスナイ本体B部送風機からの配線の色・本数は機種によって異なります。基板の表示及びコネクタの色を確認して接続してください。

PZ-N24SW を使用した場合

接続コードAとB部は左図と同様に接続してください。



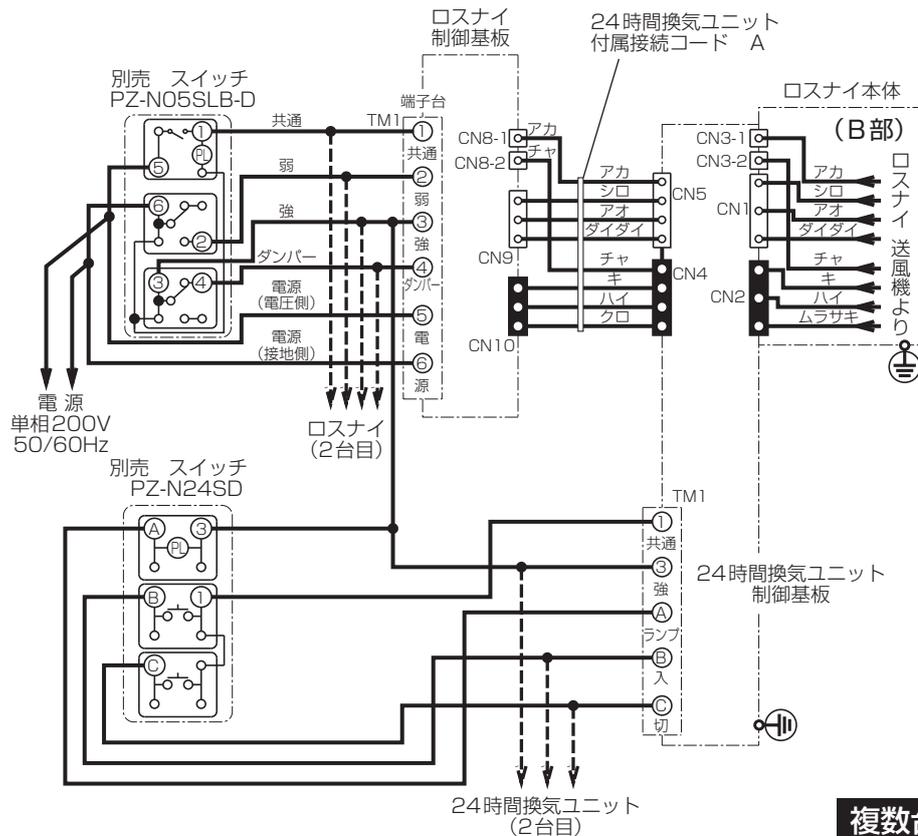
複数台運転する場合は、1つの電源および1つの漏電ブレーカーから供給する

各ロスナイに漏電ブレーカーを1個ずつ設置すると漏電ブレーカーの入出力電流にアンバランスが生じ、漏電ブレーカーがしゃ断する可能性があります。

据付方法 つづき

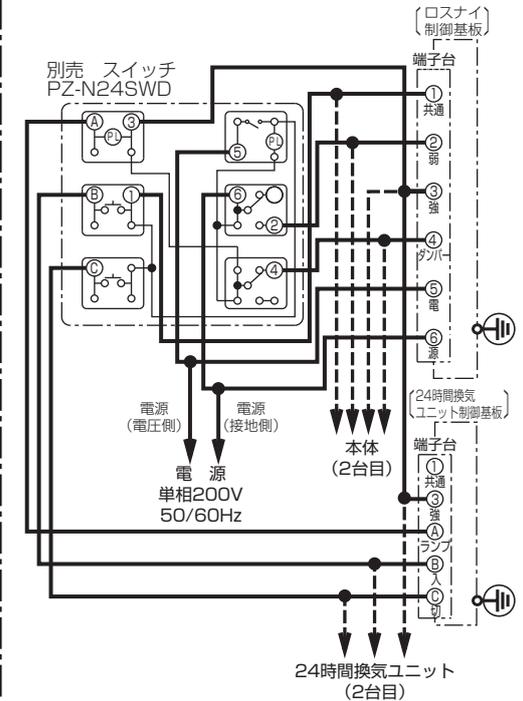
■PGL-24BJS

PZ-N24SD を使用した場合



PZ-N24SWD を使用した場合

接続コード A と B 部は左図と同様に接続してください。



※上記は回路図を示し、コネクタの配置は現品と異なります。
コネクタの表示と色を確認して接続してください。
※ロスナイ本体 B 部送風機からの配線の色・本数は機種によって異なります。基板の表示及びコネクタの色を確認して接続してください。

複数台運転する場合は、1つの電源および1つの漏電ブレーカーから供給する

各ロスナイに漏電ブレーカーを1個ずつ設置すると漏電ブレーカーの入出力電流にアンバランスが生じ、漏電ブレーカーがしゃ断する可能性があります。

端子台接続時のご注意

⚠ 注意

電源線、連絡電線などを端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子などを使用して確実に接続する。
使用しないと漏電・火災などの原因になることがあります

圧着端子 接続例

絶縁被覆がない場合は必ず絶縁処理をする

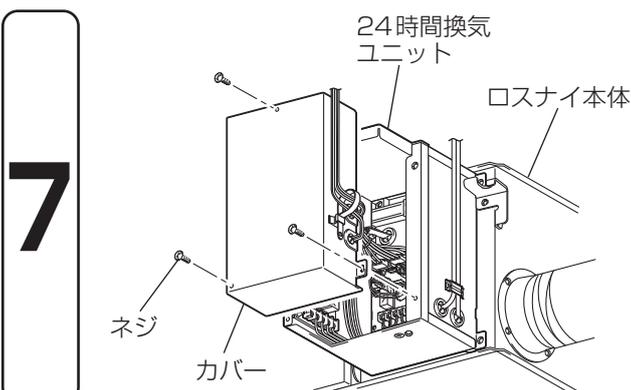
電源電線
単線φ1.6 例 VVF

8mm以下
端子台

圧着端子
※外径が8mm以下のものを使用してください。
例) 日本圧着端子(株):5.5-S4
日本端子(株):5.5-4S

24 時間換気ユニットカバーの取付け

24 時間換気ユニットカバーのネジ3本を締め付けてカバーを固定し、24時間換気ユニットのコードクリップで24時間換気ユニット用接続電線を固定する。



結線の確認

本体の据付工事が終わりましたら、通電する前に結線が間違っていないか確認する。

■組合わせ表 PZ-N24S、PZ-N24SDを使用した場合

	電源	形名	コントロールスイッチ形名
ロスナイ本体	単相 100V	LGH-N15~N100RS	PZ-N05SLBまたはPZ-N20SLB
	単相 200V	LGH-N15~N100RSD	PZ-N05SLB-DまたはPZ-N20SLB-D
24時間換気ユニット	単相 100V	PGL-24BJS	PZ-N24S
	単相 200V	PGL-24BJSD	PZ-N24SD

■ロスナイ本体端子台⑤⑥を短絡モードに誤結線すると、回路が破損します。

■24時間換気ユニット①③を短絡モードに誤結線すると、回路が破損します。

■複数台運転のとき各ロスナイへの電源供給の極性が違っていると回路が破損します。

必ず元電源を「切」の状態での確認を行う。

- ロスナイ本体のコントロールスイッチの電源スイッチを「入」にし、風量切換スイッチを「弱」・機能切換スイッチを「普通換気」にする。
- 24時間換気ユニットのコントロールスイッチの「夜間運転」ボタン、「昼間運転」ボタンを押す。(ビニールテープ等でボタンを固定し、押したままの状態にしておいてください)
- 抵抗の測定 (ロスナイ本体)
ロスナイの端子台⑤⑥にテスターを当て、抵抗を測定する。ほぼ0Ω(1Ω以下)が出ると誤結線です。結線図を見て正しく結線し直す。

■組合わせ表 PZ-N24SW、PZ-N24SWDを使用した場合

	電源	形名	コントロールスイッチ形名
ロスナイ本体 24時間換気ユニット	単相 100V	LGH-N15~N100RS PGL-24BJS	PZ-N24SW
	単相 200V	LGH-N15~N100RSD PGL-24BJSD	PZ-N24SWD

■ロスナイ本体端子台⑤⑥を短絡モードに誤結線すると、回路が破損します。

■24時間換気ユニット①③を短絡モードに誤結線すると、回路が破損します。

■複数台運転のとき各ロスナイへの電源供給の極性が違っていると回路が破損します。

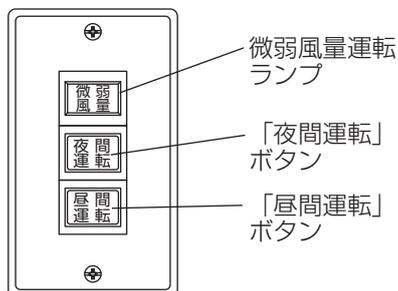
必ず元電源を「切」の状態での確認を行う。

- ロスナイ本体端子台の③と24時間換気ユニットの端子台の③が接続されていることを確認する。
24時間換気ユニット端子台の①に何も接続されていないことを確認する。
- スイッチを以下のようにする。
電源スイッチ……入
強弱切換スイッチ…弱
機能切換スイッチ…普通換気
夜間運転ボタン……押す ※夜間運転ボタンと昼間運転ボタンは
昼間運転ボタン……押す 押した状態で固定しておく
- ロスナイ本体端子台の⑤⑥にテスターを当て、抵抗を測定する。ほぼ0Ω(1Ω以下)が出ると誤結線です。結線図通りに結線し直す。

試運転

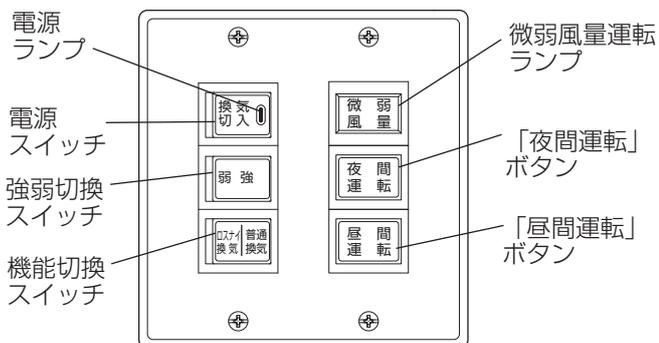
元電源を入れ次の確認を行う。

システム部材（別売）
24時間換気ユニット専用
コントロールスイッチ（単体形）
PZ-N24SまたはPZ-N24SD



1. ロスナイ本体のコントロールスイッチ(PZ-N05SLBまたはPZ-N05SLB-D等)の電源スイッチを「入」にし、強弱切換スイッチを「強」にする。
 2. 「夜間運転」ボタンを押したときに微弱風量運転ランプが点灯し、ロスナイの給気・排気の風が強から微弱に切り換わるか確認する。
 3. 「昼間運転」ボタンを押したときに微弱風量運転ランプが消灯し、ロスナイの給気・排気の風が微弱から強に切り換わるか確認する。
- 詳しくは、コントロールスイッチに付属の据付工事・取扱説明書を参照してください。

システム部材（別売）
24時間換気ユニット専用
コントロールスイッチ（一体形）
PZ-N24SWまたはPZ-N24SWD



1. 電源スイッチを「入」にし、強弱切換スイッチで「強・弱」を切り換えたとき、ロスナイの給・排気の風が強・弱に切り換わるか確認する。
 2. 機能切換スイッチを「普通換気」・「ロスナイ換気」に切り換えたとき、ロスナイ本体内のダンパーが切り換わるか確認する。
 3. 強弱切換スイッチを「強」にする。
 4. 「夜間運転」ボタンを押したとき、微弱風量運転ランプが点灯し、ロスナイの給・排気の風が微弱に切り換わるか確認する。
 5. 「昼間運転」ボタンを押したとき、微弱風量運転ランプが消灯し、ロスナイの給・排気の風が強に切り換わるか確認する。
- 詳しくは、コントロールスイッチに付属の据付工事・取扱説明書を参照してください。

お願い

- ロスナイを運転していないときに「夜間運転」ボタンを押しても微弱運転になりません。
- 微弱運転する際は、ロスナイの電源スイッチを「入」にしてから30秒以上経過してから行ってください。
- 「夜間運転」ボタン、「昼間運転」ボタンはゆっくり確実に操作してください。
- 微弱運転中に停電(落雷等で発生する瞬間的な停電も含む)が発生すると「微弱運転」が解除され、停電復帰後「強」または「弱」の運転となります。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。